

令和4年度 事業評価監視委員会からの意見に対する対応状況

| 計画名称 | 該当箇所 | 意見要旨 | 対応状況 |
|--|--|--|---|
| 1. 社会資本総合整備計画「鹿児島市における機能性の高いまちづくり（第2期）」 | 事後評価シート P2 「Ⅱ 定量的指標の達成状況」の「目標値と実績値に差が出た要因」 | 定住意識の向上が図られ人口増加に繋がりましたという説明だが、今いる人がこのまま住みたいと思っていることが、人口増加の説明にはなっていない気がする。 | 定住意識についての文言を削除する。 【前】「市民生活の利便性が向上したことで、 <u>定住意識の向上が図られ</u> 、居住人口が増加したと考えられる。」 【後】「市民生活の利便性が向上したことで、居住人口が増加したと考えられる。」 |
| 2. 都市再生整備計画「吉野地区」 | 事後評価シート P1 「2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況」 | 交通環境の不満度において、交通環境が改善されたと感じる住民の割合が増えたとあるが、幹線道路や生活道路の整備状況に不満を感じる人の割合が減ったという記載が正しいのではないか。 | 下記のとおり文言を修正する。 【前】「安全性を確保したことで、 <u>交通環境が改善されたと感じる住民の割合が増えた。</u> 」 【後】「安全性を確保したことで、 <u>交通環境に関する不満度の低減につながった。</u> 」 |
| 3. 社会資本総合整備計画「鹿児島市における通学路等の交通安全確保による安心安全な地域づくり（防災・安全）」 | 事後評価シート P1 「定量的指標の定義及び算定式」 | ホームページで公表する際は、通学路点検の結果が掲載されたページへのリンクをつけるなど、わかりやすくして欲しい。 | 事後評価シートの公表ページに通学路点検のページの URL を記載する。 通学路交通安全プログラムに基づく合同点検の結果のページ https://www.city.kagoshima.lg.jp/kensetu/douro/dourokensetu/machizukuri/kotsu/doro/tuugakuro.html |
| 4. 都市再生整備計画「鹿児島駅周辺地区(第2期)」 | 事後評価シート P1 「2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況」 | アンケートの回答者数を平成29年度、令和4年度それぞれ記載するなど、公表時には丁寧に説明するようにして欲しい。 | アンケートの回答者数をそれぞれ記載した上で、公表する。 |
| | 事業評価シート P2 「まちづくりの目標」 | 鹿児島駅を北の玄関口と表現しているが、定義が曖昧だと思うので、今後の計画等では別な位置づけを考えて施策を推進した方がよいのではないか。 | 鹿児島駅が中心市街地の北側に位置していることから北の玄関口という表現を使用している。今後、他計画等で同表現を使用する場面では慎重に検討する。 |
| 5. 都市再生整備計画「いづろ・天文館地区」 | 事後評価シート P1 「1）事業の実施状況」 | 呉服町2, 3番街区の駐車場、自転車駐車場整備事業については、同じ方向からの写真で整備前後の状況を示すなど、市民に理解しやすい方法で公表して欲しい。 | 整備前後の写真は、同じ方向からの写真に差替えた上で、公表する。 |
| | 事後評価シート P1 「3）その他の数値指標による効果発現状況」 | センテラス天文館ができて賑わっているとの評価だが、空き店舗もある。楽観的な評価ではないか。 | 国も全国旅行支援を始めるなど経済活動の強化を図っていることや、開業後にセンテラス天文館前の歩行者通行量が、3年度と比べ15%増加していることを評価した。今後の推移を見守っていく。 |
| 6. 都市再生整備計画「鹿児島中央駅東口地区」 | 事後評価シート P1 「3）その他の数値指標による効果発現状況」 | ライカ1920の歩行者通行量は、解体工事が29年に始まり少なくなっているため、公表時には丁寧に説明するようにして欲しい。 | 工事期間中の調査結果に「再開発ビル工事のため通行量が大きく減少」と注記を追加する。（審査事項5, 7も同様に対応） |
| 7. 社会資本総合整備計画「中心市街地の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくり(第2期)」 | 事後評価シート P2 「Ⅱ 定量的指標の達成状況」の「指標②」 | 入込観光客数が定量的指標の中に入っているが、これを指標にする必要があるか。 | 中心市街地では、市の他部局でも様々な事業を実施していることから、総合計画の目標値の1つである入込観光客数を、国と協議の上、定量的指標に定めた。 |